

登米高の志教育

「かかわる」「もとめる」「はたす」

～ 夢ある限り挑戦！ ～

令和2年度 第1号

令和3年3月15日発行

企画・編集：志教育担当

今年度の活動を振り返って

新型コロナウイルス関連で「例年のように」とはいきませんでした。そのような中でもいくつかの地域関連行事を実施できました。数は少なかったかもしれませんが、それぞれに光り輝く生徒のみなさんの姿があったのではないかと思います。今号では今年度の活動について紹介したいと思います。

1 地域清掃の実施（1・2年生）

令和2年9月17日（木）6校時（LHR）の時間に1・2年生で本校付近の清掃活動を行いました。この時期は例年であれば「とよま秋祭り」が実施される時期です。登米小学校と登米中学校は秋祭りに合わせて清掃活動をしていましたが、今年度は登米高校もこの時期に実施することができました。普段からお世話になっている地域のみなさんへの感謝を表す機会となりました。観光地ゆえか、あまり多くのごみがない街並みですが、そのような中でも道路わきの草むらにあるものも拾うなど積極的に取り組んでいる姿が見られました。



2 読み聞かせの実施（図書委員ほか）

登米高校では登米小学校の1・2年生のみなさんを対象に、読み聞かせを行っています。10月19日に開催され、図書委員や3年生の選択授業「発達と保育」受講者のみなさんが読み聞かせを行いました。例年であれば年に8回程度実施していますが、今年度はこの1回のみの実施でした。毎年同様、今年度も好評を博していたようです。担当したみなさんも学んだことは大きかったのではないのでしょうか。お疲れ様でした。

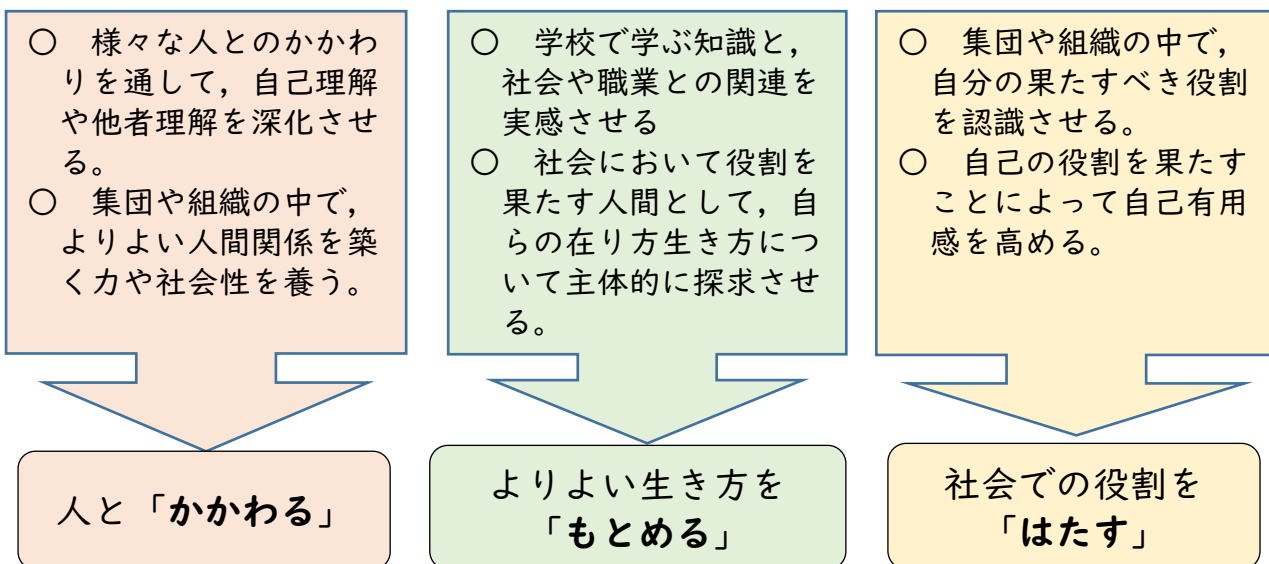


読み聞かせの様子（2020.10.19@登米小学校）

今更かもしれませんが・・・

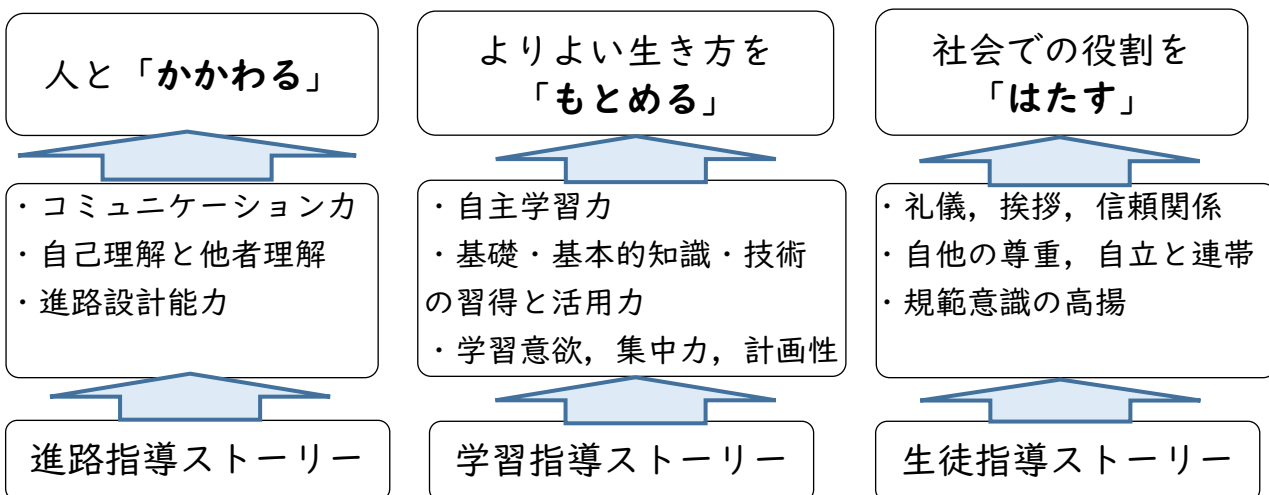
「みやぎの志教育」とは？（令和元年度高校生フォーラムの資料より）

小・中・高等学校の全時期を通じて、人や社会と関わる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めるよう促す教育です。（註：編集者によって図表等を一部改変）



「みやぎの志教育」…登米高校ではどのように取り組んでいるのか？

登米高校でのあらゆる教育活動の中に「かかわる」「もとめる」「はたす」は意識されていますが、登米高校では「**Dream Challenge Plan**」として、3つの力を引き出し、大きく育ていこうと取り組んでいます。（詳細は次号以降で紹介します。）



跋 それぞれの「ストーリー」については紙幅がないので、またの機会に。今年度はオンライン版の「高校生フォーラム」に出演した4名の生徒諸君、お疲れさまでした。とてもよい発表だったと思います。（文責：志教育担当）